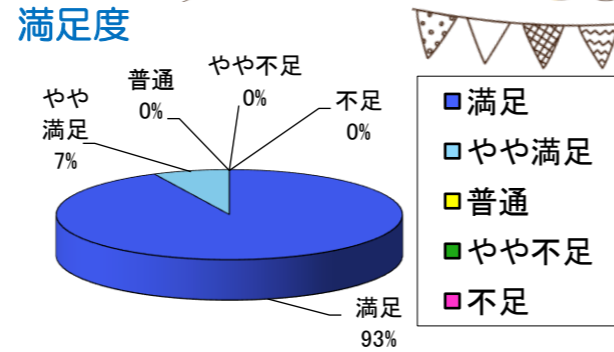


女性活躍推進事業 好きと仕事のカフェ交流会

9月20日(土) 坂東市役所1階市民カフェラウンジ



講師 光畑 由佳氏 (モーハウス Mo-House代表)

Profile
倉敷出身。お茶の水女子大学被服学科を卒業後、(株)パルコでの美術企画、建築関係の編集者を経て、1997年、電車の中での授乳体験を機に、「ウェアラブルな授乳環境」として授乳服の製作を開始。国内外から注目され、商工会女性起業家大賞、内閣府女性のチャレンジ賞、お茶の水女子大学賞など受賞。2014年北京、2016年ペルーで開かれた「APEC女性と経済フォーラム」で、日本代表の一人としてスピーカーを務めた。2023年、建築家とつくば市に建てた自宅を、地域に開かれたフェムテックカフェとしてオープンした。



やってみたいけど踏み出せない、始めたけれど悩んでいる起業したい(している)市内女性13名が参加しました。こんなに起業に興味を持っている女性たちがいるのだととても頼もしく思いました。交流会では、日頃思っているモヤモヤや、起業への思いを共有しました。講師の光畑氏の経験談から勇気をもらい、同じ思いを持って起業している人が自分以外にいること知り、更に起業へ向けて行動を起こす一助となる有意義な交流会となりました。

感想・意見

30代
これからは女性の時代、と本当に思います。坂東市の素晴らしい女性の方々とお会いできる機会をありがとうございました。今後の励みになる時間になりました。

40代
市内にこんなにたくさんの自ら動かれている方がおられることに刺激を頂きました。涙ぐまれている方もおられて、みんな頑張ってきたんだと感じました。みなさんに拍手を送りたいです。

40代
とても素敵なお話ありがとうございました。一歩踏み出す良いきっかけになりました。



令和7年度 ばんどう市女性団体協議会主な事業

5月 総会 9月 女性活躍推進事業「好きと仕事のカフェ交流会」 10月 応援市(バザー出店)
10月 視察研修 1月 男女共同参画講演会「自分らしい働き方」 3月 会報第20号発行

会員募集中!

各団体の問合せ等詳しくは、坂東市役所市民協働課(Tel.0297-21-2183)へ。個人でも入会可。

編集後記

ばんどう市女性団体協議会も活動を続け20年となりました。女性の視点を取り入れたまちづくりの推進、男女共同参画社会への実現など、イベントや広報等を通じて市民の皆様や近隣地域に発信して参りました。女性の活躍は様々な場所で目にする機会が増えました。これからも市民の皆様の協力を頂きながら、市の施策と連携し活動して参ります。

発行：ばんどう市女性団体協議会

ぽーとなー

ばんどう市女性団体協議会 会報

発行記念
特別号
20号

《目的》 私たちは、市内の女性団体が相互に連携・協力することにより、構成団体の一層の活動強化並びに男女共同参画を推進することを目的とする。
～規約第2条より～



男女共同参画講演会

1月24日(土)
坂東市役所1階多目的ホール
自分らしい働き方
～仕事が教えてくれたこと～
講師 石田 奈緒子氏

Profile
1960年5月2日生まれ
茨城県笠間市在住。
1984年3月茨城大学文学部卒業。
1984年4月NHK水戸放送局FM放送番組アシスタント。1986年4月茨城県入庁。北茨城市副市長、国体・障害者スポーツ大会局長、営業戦略部長などを経て、2021年に定年退職。2021年首都圏新都市鉄道株式会社 常務取締役。2022年関東鉄道株式会社 社外取締役。2024年ホテル日航つくば/ホテルJALシティつくば代表取締役社長。現在に至る

石田氏の考え方は「環境に文句を言うな、職場では必ず楽しみを見つける」という、お母さまの教えからくると話してくれました。県職員時代は「時間内に終わらせる」を心がけて仕事をしていたとのこと。日韓ワールドカップの時は、対応業務に大忙しで、帰宅は夜中になり子どもの寝顔を見るだけだったなど、夫婦で協力して育児を分担し合ったそうです。東日本大震災の時、北茨城市副市長(災害対策本部長)であった石田氏は「みんな平等」と支援が始まり、当坂東市より給水車、水道業者や支援物資、そのうえ現地職員に向けたパンの差し入れに胸を打たれたと、感謝とお礼を述べられました。「人とのつながり」「厳しい環境や失敗を受け入れて前に進む」「その仕事の意味とビジョンを仲間と共有する」石田氏の講演は、これからの私たちの人生に役立つ内容でした。

構成団体

坂東市女性フォーラム
坂東こども劇場
ばんどう舞祭倶楽部

ガールスカウト茨城県第8団
坂東市交通安全母の会
坂東市地域女性団体連絡会

会長あいさつ 「日本にもついに女性首相誕生」

皆様には、日頃から当団体にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

会報「ぱーとなー」は毎年全戸配布し、昨年は合併20周年記念にダイバーシティ&インクルージョン講演会講師・副島淳氏から多様性について学びました。今年度は「ぱーとなー」20号記念に、木村市長にご寄稿を頂き、我々団体も更なる躍進を目指すところです。しかし、日本はジェンダーギャップ指数において、残念ながら下位におります。特に政治・経済の分野で女性参画が低いと統計にも表れており、世界の各機関から改善を促されておりました。しかし、自由の国アメリカよりも早く女性の首相が誕生致しました。歴史的な一歩です。

さて、これからはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の時代です。政治は多様性の遅れた分野だからこそ女性リーダーの存在が企業や社会の多様性を自然に広げる事につながると言われています。

女性首相というロールモデルを頂いた日本は失われた30年を一新し、誰もが挑戦し、真の豊かさで自信を取り戻し、老若男女共にハツラツと生活したいものです。



会長
服部 恵子

特別寄稿 「未来は輝く」

記念すべき会報「ぱーとなー」第20号のご発刊、誠にありがとうございます。

寄稿のお話をいただき、まず思い浮かんだのは「津田梅子」先生でした。令和6年7月、約20年ぶりに改刷された新五千円札の顔となった人物です。津田先生は、わずか6歳にして日本で初めて海外に留学し、後に日本における女子高等教育の先駆者として、女性の地位向上に生涯を尽くしました。没後約100年、そんなにも前から女性の未来を展望していたのかと、非常に感慨深いものがあります。

『女性が活躍している街は、元気な街だ』
こんな言葉をよく耳にします。令和6年4月1日、坂東市で初の女性教育長が誕生しました。物腰が柔らかく、それでいてブレない信念と潔い決断力の持ち主である倉持教育長には、多様化・複雑化する現代の教育行政を力強く牽引いただいております。地域に目を向ければ、お母ちゃんたちのエネルギッシュな姿に惹かれて、笑顔が生まれる。

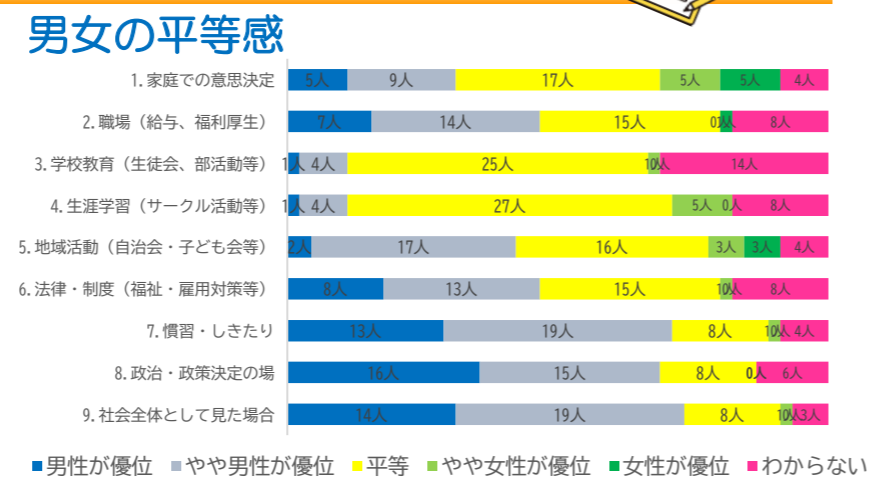
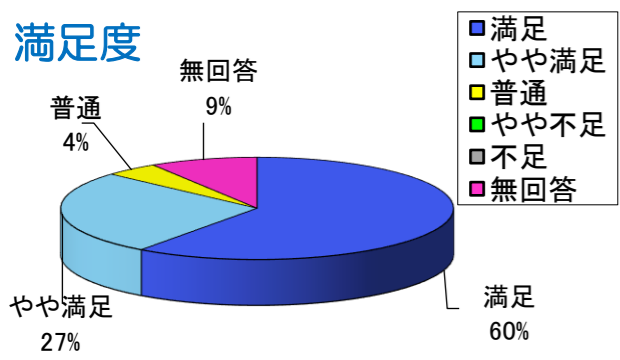
うん、確かにそうだなと、本当に頼もしく、心強い限りです。結びになりますが、男女共同参画の推進に向けて積極的にご活動いただいております服部会長をはじめ、貴会の皆様方に、心からの感謝と敬意を表しますとともに、さらなるご活躍を楽しみにしております。坂東の未来は、必ず輝くと信じて。



坂東市長
木村 敏文

男女共同参画講演会のアンケート

参加者数	60人
アンケート回答者数	45人



感想・意見

30代(女性)
失敗してもそのときでいいことをする!という言葉が心に残りました。素敵な企画をありがとうございました。

40代(男性)
つらいこと、苦しいこと、すべてが良い経験であり、受け入れ、前に進むその通りだと感じました。

40代(女性)
大満足でした!自分でやれる事の気づき、正解を探していたが、心が救われた内容でした。

70歳以上(女性)
とても良かった。女性の可能性にワクワクをもらいました。仕事に向き合う心がけに感動しました。

10月5日(日) 応援市(エール市) ホテルグリーンコア坂東

ばんどう応援市にてバザーを出店し、各団体が連携して女性団体の活動PRを行いました。



視察研修 10月30日(木) ホテル日航つくば社長・ワイン醸造家訪問



従業員の半数が女性、管理職の三割を女性が務める企業のトップであり、女性活躍のロールモデルである石田奈緒子社長を表敬訪問し、これまでの体験や考えを伺い、同じ女性として多くの点で共感し、今後の取組に意欲が高まる貴重な機会となりました。

ビーズニーズヴィンヤーズの今村ことよ代表からは、一人でワイン造りに挑む熱意と夢を叶える実行力や創意工夫が伝わり学びの多い研修となりました。

総会 5月20日(火) 坂東市役所1階多目的ホール

山口副市長をはじめ、来賓の方々、各団体の会員さん出席のもと、総会を開催しました。事業報告の承認、事業計画の議案が可決され、新年度がスタートしました。

アトラクションは、坂東市交通安全母の会の活動発表でした。母の会の活動の様子を改めて知る事が出来て有意義な時間でした。

